



# FEELERS

平成17年06月発行

第2号

彩の国バリアフリー協会  
〒336-0031  
さいたま市南区鹿手袋4-1-7  
埼玉県産連会館  
TEL 048-864-9313  
FAX 048-864-9381

研究部会施設見学会報告

## 埼玉総合リハビリテーションセンター

平成16年11月29日、当協会研究部の具体的活動として、埼玉県総合リハビリテーションセンターの見学会を開催いたしました。初めての

見学会ということ、まずは私達の生活している埼玉県内の福祉施設の現状を知る事を目的として、県内のリハビリテーションの中核的施設を選択しました。障害別の専門的な機関のための施設見学会は、今後目的に応じて順次企画していく予定でいます。今回は、会員全員への案内状の配布、昨年の彩の国バリアフリーカレッジ受講



リハ工学研究室で技師より説明を受ける

者への呼びかけ、さらに案内状を区役所などの公共の窓口にも置くなど、広く呼びかけた結果、総勢22名の参加者がありました。

- ① 埼玉県総合リハビリテーションセンターは相談判定から職業訓練までの総合的リハビリテーションを行い、併せてリハビリテーション関係者の技術向上を支援している施設として、地域で生活する障害者の生活圏の拡大や自立を目的とした援助をしており、入所者数は見学会当日で、肢体不自由者厚生施設68名(定員80名)、視覚不自由者厚生施設7名(定員10名)でした。以下当日の流れに沿ってお伝えします。
- ② 担当者よりビデオ放送を含めた概要の説明
- ③ リハビリテーション工学研究室を見学。歩行の状態を計測・分析し、訓練及び補装具製作に役立つ研究をしている。入所者の退院に向けて
- ④ センター内にある肢体不自由者厚生施設の見学。作業療法訓練では、各職種の専門知識・技能の修得を目指し、社会復帰や家庭復帰に向けての訓練。事務系能力開発支援として職業に就く為パソコンによる情報処理・建築CAD等で専門知識及び技能の習得。健康増進部門として、体力作りやスポーツ活動のトレーニング指導の為の体育館も併せて見学。
- ⑤ 院患者・外来患者向けの作業療法訓練・理学療法訓練の見学。
- ⑥ 補装具製作施設では義足の調整の見学。(製作は出入業者に発注し施設内では調整のみ)
- ⑦ 地域リハビリテーション支援についての説明。専門スタッフの強力を

得ながら、家族・当事者の相談に応じ、自己選択する際に役立つ情報提供を行いながら地域での生活支援を行う。

以上により、2時間半の見学会を終了しました。見学箇所が多くゆっくり質問する時間が取れなかったのは反省すべき点でした。参加者からは、普段見る事の出来ない施設内をじっくり見られた、又訓練中の利用者の活気ある表情を見られたのが良かった。等多数の反響をいただきました。今後の活動にぜひ活かしていただきたいと思ひます。

見学会は地域リハビリテーションの視点から障害に対する知識を深め、参加者の方々の地域における各々の関わりを再認識するきっかけとしてもらう事を大きな目的として企画いたしました。見学を通じて、地域のネットワーク化が進みづらいうまくいっていることができたように思います。今後、ノーマライゼーションを現実のものとして形作っていくために、私達地域住民が目指していく地域リハビリテーションの理想像を会員同士や他団体との交流を通じて、深く議論していくことが望まれます。そして議論を通じ



参加者の皆さん。お疲れ様でした！

てこそ、専門分野の枠を超えて地域福祉の目指す方向を一緒に見据えていくことが出来るのだと思ひます。地域の中で当協会ができること、会員一人一人ができることを見つけたし、既成の枠を超えた地域リハビリテーションのネットワークづくりに一役買っていきけるような活動につながることが大事だと感じました。大きな夢を膨らませつつ、次回見学会の企画に情熱を注ぎたいと思ひます。皆様どうぞ次回も大勢の参加ご協力を御願ひいたします。

(栗林稔昌・大道千佐子)



家具全般から表示板  
映写用スクリーン各種  
看板・文字書き・切文字各種  
**浅子工業株式会社**  
〒343-0003  
埼玉県越谷市船渡 2084  
TEL 048-974-4351 FAX 048-975-1336

**株式会社サンセット・シニアーズ**  
介護保険のことならおまかせください  
●居宅介護支援事業所●訪問看護●訪問介護  
●デイサービス●グループホーム  
久喜市東2-28-27(大東武観光(株)ビル 1階)  
TEL/FAX 0480-21-9683

**SANO 建築設計デザイン事務所**  
住宅ほか  
建築設計から施工まで  
〒344-0067  
埼玉県春日部市中央 7-6-3  
TEL 047-734-3415 FAX 048-734-3413

バリアフリーという言葉を目にしたことが無い人は、今ではほとんどいないと言っているくらい世の中に出回ってまいりました。しかし、この言葉の意味を本当に理解している人はまだまだ数少ないように思えます。まして、バリアフリーを生かして活動している人はほんの一握りの人だけに思われます。いわゆるバリアフリーという言葉だけが先走りをしていて、聞いたことはあるがそれを生かすやり方を理解していないというのが現状のようです。

設備メーカーあるいは住宅メーカーにおける住宅改修の事例は数多くありますが、それは、改修前・改修後・費用・それらの融資・補助金の内容だけのものがほとんどです。仮に改修内容を明記したもので、床の段差を解消した・手摺をつけた・スペースを広げた、といった、マニュアル通りの改修にすぎないもので占めています。手摺を取り付けたので費用はこれです。段差解消機を設置したので金額はこれです。これでは改修工事を行なったと言っただけで、施工者側の満足で終わった事例、つまり施工する者に参考になるだけの事例に過ぎません。本来事例を紹介したい目的は、改修後、使用者にとって本当に使い易いのか、実際の使い勝手に問題点はないか、内容に応じた対応策はどのようなことがあるのかなどの、いわゆる改修後の声を聞くことによって、使用者側が満足する内容を参考にすることが重要と考えています。

(戸井田 秀明)

# 彩の国バリアフリー協会がめざす 住宅改修事例

-Kさん宅の場合-

## Kさんのプロフィール

今回、住宅改修事例として紹介させていただくKさんは、平成6年11月に屋根改修の現場調査中の転落により、脳挫傷・脊椎損傷による四肢機能障害および、左上肢若干麻痺により車椅子生活を余儀なくされました。身体機能も第11胸椎骨折による運動・感覚完全麻痺で起立歩行は不能の状態です。



改修は水周りを中心に行なわれ、日常生活が一人でこなせるようになった

障害に合わせて住宅改修を行なおうとすると、いかにも大掛かりな改修を考えてしまい、金銭的に余裕のある人だけにしか出来ないように思われ、その工事内容は住宅改修を知らない建築家の自己満足で終わってしまいがちですが、無駄な費用を使わず本当に利用する人が使いやすいするために、使う人の動作をより具体的に把握すれば、決して大掛かりな工事をすることなく改修する事が出来ます。

事実Kさん宅は、鉄筋コンクリート造のマンジョンの

7階を改修して6年前から生活しています。現在のマンジョンに入居する以前、退院直後の住宅探しには大変な苦労がありました。1戸建て(2階建て)の住宅を探し当てて改造してみたものの、玄関にある大きな段差の問題、駐車スペースとの動線の問

題。2階上がる手段として階段昇降機を設置したが、急勾配すぎて2階から降りる際の恐怖心、さらに2階に上がる時には使用車椅子を持つていかななくてはならないことから、昇降機を利用した回数が2年間で片手程度にすぎなかった結果や、さらに精神的に立ち直れない日々。家族の介護の問題。数々の苦



高さがそろっていると移動もスムーズ!



一人でトイレに行けるって実は大事な事なんだよね。



開口部をアコーディオンカーテンにしたので、中まで車椅子で入れます。

# 新会員紹介

労を重ね、又、それを生かして現在のマンションにたどり着きました。

Kさんは言います。「この苦勞は決して無駄ではありませぬ。この経験を伝えていきたいのです」と。

さてKさんのマンション改修にはいくつかのテーマがあります。そのポイントを紹介します。

(1) 車椅子が可能なマンション  
 (2) 誰もが(高齢者・車椅子使用者含む)住むに当たり、最低限の改造で済ませる。  
 (3) あからさまな改造箇所を出すのではなく、ノーマル

で改造箇所が分からない様に、且つ、使用者が不自由なく生活できる。

(4) 介護及び介助をなるべくしないようにする。(自立出来る体制)

Kさんの日常生活は、家具はベッドで、移動は車椅子を使用しています。ベッドと車椅子での移乗は自立で可能です。食事・洗面・トイレも自立、着替えはベッド上にて着脱衣し、入浴はベッド上にて浴室内に移動しシャワー浴のみです。

これらをおこなった改修ということになりませんが、例えば、

ば、手摺を取り付けるのにも力を入れる事の出来る高さ人がよってさまざまです。動作を見て、どこに、どの向きに手摺があれば意味をなすのか。トイレは広ければ良いのではなく、車椅子から便器に移る際、どの方向から移り易いのか。便座に対して正面から入っても移りにくくは移り易いものです。あるいは、玄関の段差は完全に無しにする必要もない場合もあります。洗面化粧台の高さも、手を洗う水道蛇口の種類により、それぞれ、それに



洗面所で使い心地を確かめる

応じた様々な改修の方法があります。マニュアル通りの改修方法では解決できないこれらの内容を、施工する側が施主との話し合いの中でどのように形にしていけるか。それらが結果的に改修後の声にどれだけ満足を与えられたかが重要だと考えられます。そしてその声を数多く

紹介することが、利用者が参考にする際に大きな意味をなすように思われます。

Kさん家族は、今ではお互いに自由に外出もでき、自由な行動をする事が出来るようになりました。このように、多くの人が改修によって自立した生活ができるように、使用している人とその家族の改修後の声を聞き取り、さらに関連の人達との意見交換やバリアフリー相談会などを通して、今後、本場に役立つ事例を提案できればと考えます。



Kさん家族と参加メンバー

最後に今回の事例紹介に多大なご協力をいただきましたKさんご家族、ならびに協力いただいたメンバーの皆様にご心から御礼を申し上げます。

- 坪井武信  
坪井建築設計事務所  
(志木市)
- 佐々野勝規  
平淳子  
株式会社塚田設計  
(和光市)
- 木村佐知子  
株式会社木村工業所  
(さいたま市)

- 小野寺敦  
有限会社  
庵デザイン  
建築オフィス  
(さいたま市)
- 山田孝子  
有限会社フジ設計  
(越谷市)
- 増田勉  
有限会社コレコ  
(川越市)
- 鈴木浩通  
株式会社鈴木建設  
(大井町)
- 神谷玲子  
株式会社大貫工務店  
(さいたま市)

- 山本由佳  
株式会社  
井上建築事務所  
(さいたま市)
  - 山本佳正  
株式会社  
橋本健二  
株式会社  
高橋政雄設計事務所  
(さいたま市)
  - 三浦けい子  
こうだ建築設計事務所  
(さいたま市)
- 今後とも  
宜しく御願います

## ～お知らせ～

◆バリアフリー協会のHPが開設されました。まだまだ工事中ですが今後拡充していきますのでぜひご覧ください。

<http://homepage2.nifty.com/enosons/sbfa/sbfa001.htm>

◆第30回建築士事務所全国大会埼玉大会

「都市(まち)と景観の再創造」

開催日時：2005年9月16日(金)

開催会場：大宮ソニックシティ

分科会 13:00～14:20

○「心」と「体」のバリアフリー

○地震と補強

—耐震改修における低強度コンクリートの問題点—

○都市と景観

○川越蔵造りの街・まちの再創造

○建築作品展

基調講演 14:40～15:50 吉村 作治氏

株式会社

ホンダクリオ埼玉

ホンダ車のご用命は直販店へ…

〒338-0001

埼玉県さいたま市中央区上落合 4-14-38

TEL 048-854-9080 FAX 048-854-6311

電気を大切に

東京電力株式会社

埼玉支店

〒330-0074

埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-14-2

TEL 048-690-2755 FAX 048-690-2319

# 各委員会より

部会は今年度より委員会構成になりました。  
構成図は総会資料を参照してください。

研究部会  
福祉施設機器調査委員会

寺田 修

福祉施設機器調査委員会は、福祉施設及び福祉機器についての情報や資料を、会員に提供するために調査研究を行なうことを目的としています。

本年度の活動として以下の3つの計画を立てました。

- ① 住宅改修における福祉機器(福祉用具)活用のための各資料作りを行なう。
- ② 各福祉施設の概要を体系別に調査し、活動に必要な情報を整理する。
- ③ ユニ・バリ探求委員会と共同で「国際福祉機器展」の見学会を行なう。

会員の皆さまの、実務の参考になるように、最新の情報をお届けできるよう活動していきたいと思っております。見学会等のご参加、宜しくお願いたします。

研究部会  
ユニ・バリ探求委員会

栗林 稔昌

ユニバーサルデザインが障害のある方だけでなく誰にでも使い勝手がよいもの、バリアフリーが、障壁が無いものと位置付けられていることは皆さんご存知だと思います。私達ユニ・バリ探求委員会は、今ある地域の現状、地域福祉の実情などを見学調査しながら、その問題点を探ります。その中で、関わる人全てが対等な立場で意見を言い合い、提案する。そして地域の課題とニーズを見つけたし、少しずつでも改善されることで地域が暮らしやすくなるお手伝いができたら、と考えています。委員会独自で学びながら、自身自身をも高める事を目標とする委員会です。

今後とも宜しくお願いたします。



企画部会  
バリアフリー改修委員会

戸井田 秀明

バリアフリー改修委員会は、4つの中で最も多くの委員で構成されている会です。

委員会の活動は、住宅改修事例を収集することから始まりました。しかし、ただ単に事例を集めるだけではなく、改修した事例を利用して問題はないか、改修した内容が意味をなしているのか、本当に使いやすいのかなど、実際に使用している人の声を集める事に力を入れていきます。施工する側にたつ参考事例ではなく、使用者側にたつた事例を数多く収集し紹介すること。それらを踏まえる事で、今後、会員の皆様がバリアフリー住まいの相談を行う際に意味のある、使用者側にたつた本物のアドバイスができる参考になれどと考えています。

協力いただいている方々には深く入り込む部分もあり大変ご迷惑をおかけしますが、より良いバリアフリー改修につながるためにこれからも宜しくお願いたします。

企画部会  
BF建築カレッジ  
実行委員会

武田 敏彦

彩の国バリアフリー建築カレッジは、平成16年まで既に7回開催され、約七百人の方々が卒業し、建築のみならず、医療や介護等、さまざまな分野で活躍が期待されています。当協会はカレッジ受講修了者により構成されており、バックボーンであるといえます。この建築カレッジが大きく発展することは、私達にとっても大きな喜びです。

バリアフリー建築カレッジ実行委員会は、埼玉県及び建築士事務所協会とともに、建築カレッジ開催のための企画運営にボランティアとして参加し、カレッジ成功の大きな力となつてまいりました。

今後も建築カレッジ発展のために、なお一層努力してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

彩の国バリアフリー協会

## 「自由の広場」のご案内

このたび「自由の広場」という名称の交流の場ができました。BF協会内の活動報告会や委員会活動、また活動を超えた会員同士の交流の場となっております。多くの会員の皆様に気軽に参加頂き、交流を深めて頂くと同時に委員会活動の様子なども知っていただきたいと思えます。

次回「自由の広場」は左記のとおりです。

日時 6月18日(土) 10時  
場所 ウイズユーさいたま  
(埼玉県男女共同  
参画推進センター)

電話 048-601-3111

さいたま新都心駅より5分

今後の開催予定日

7月16日、9月17日  
10月15日、11月19日  
12月17日

場所・時間は同じです。

今後の開催予定日はHP上でも確認できます。アドレスはお知らせ欄をご参照ください。

## 賛助会員募集中!

賛助会員の方の年会費は  
一口五千円二口以上で  
お願いたします。

介護のことなら

## △サシ株式会社

〒340-021  
埼玉県北葛飾郡鷺宮町鷺宮 814  
TEL 0480-58-9911  
FAX 0480-58-9910

指定居宅介護支援事業者  
指定訪問介護事業者  
指定福祉用具貸与事業所  
介護タクシー



編集後記

バリアフリー協会の広報誌でこんなこと書くのはどうかと思いましたが、バリアフリーが必要ですよ。友達と喧嘩した小学生が「バリア!」ここからこっちへ入って来ないで! って言ってます。何かとても微笑ましい。それに似たことが大人の世界にもあるんじゃないかって思いませんか? バリアの意味を取違えてると言われちゃうかも。その通りかもしれません。でもバリアフリーの意味の中にはバリアを自由自在に操るという意味も隠れてませんか。ともかく広報誌第2号が完成しました。ご意見をどしどしお寄せください。(お)